

クラス番号	611	担当教員名	羅 佳
テーマ	高齢期を支えるための地域福祉 —自治体の各種計画策定とその推進をめぐって—		
著書・論文 研究課題等	・「中国都市部社区に配置されているソーシャルワーカーの現状と課題—北京市での現地調査を通じて」『中部社会福祉学研究』日本社会福祉学会中部部会、第4号、51-63、2013.3 ・「中国都市部社区の就労支援を通じたコミュニティワーク —現地調査の事例に基づいて」『第21回アジア・太平洋ソーシャルワーク会議論文集』312-321、2012.2 ・「中国都市部の社区サービスの推進における行政・NPO・住民組織の協力的仕組み」『中部社会福祉学研究』日本社会福祉学会中部部会、第2号、1-14、2011.3 ・「中国都市部における社区サービスの現状と課題」『中部社会福祉学研究』日本社会福祉学会中部部会、創刊号、29-38、2010.3		
ゼミナール概要			
キーワード：コミュニティソーシャルワーク 高齢期生活 福祉計画 地域福祉 フィールドワーク			
1) 目的、内容、方法等 私たちがいま当たり前のように行っている「暮らし」には、高齢期になるとどのような困難が生じてくるのでしょうか。高齢者の暮らしを支えるために、家族や地域社会が担っている役割と、コミュニティソーシャルワーカーの果たす役割について、地域福祉計画を含めた各種福祉計画の視点より考え、フィールドワークを通じて学び、考えていきます。 2) 授業計画 ① 3年次のゼミの前半では、高齢者の暮らしと課題について、テキストや新聞記事等をもとに、話し合いやグループ学習を行いながら考えていきます。また暮らしの成り立ちについて体験的に学ぶために、地域のふれあい・いきいきサロンに参加し、高齢者との交流会をはじめとしたフィールドワークを行います。 ② 3年次の後半には、フィールドワークと社会福祉士実習体験などをもとにして、高齢期の生活課題について皆さんが感じた興味関心を深めるために、資料や文献を集めてレポートを作成していきます。高齢者と家族、地域社会、社会サービス、福祉計画など、研究テーマはみなさん一人ひとりの関心に合わせて設定します。全員が卒業研究を行い、論文を作成することになっています。 ③ 4年次の前半は、研究テーマに合わせたフィールドワークと調査を行い、卒業論文を執筆します。卒業論文の完成は10月末を予定しています。提出後は、社会福祉士国家試験に向けて共同で学習します。 3) フィールドワーク 地域福祉計画の策定と推進に関わっている愛知県岩倉市において、ふれあい・いきいきサロンの方々との交流活動を通じて、地域社会でくらしている高齢者の方々とお会いし、レクリエーション活動等とおして高齢者の地域生活と課題に関する理解を深めます。 また、上記フィールドにおいて、地域福祉計画の策定や推進に関わっている市役所の職員や社会福祉協議会の職員からお話を聞き、福祉計画等に対する理解を深めます。 4) 留意事項 ゼミ開講日以外にも年間数回ほどフィールドワークや調査を行います。基本的に全員の方に参加していただきますのでご了承ください。			
担当教員からのメッセージ			
 ゼミでの学習は講義と異なり、みなさんの積極的な参加が必要です。これまで学んだ知識の活用を含めて、自ら学ぶ姿勢が大切です。そのため、ゼミを無断欠席しないように、自己管理をきちんとしてください。 みなさんにとって楽しく成長していく時間をともに過ごしていきたいと思います。			